

【小学校高学年の部】

最優秀賞

「おじいちゃんのかなやみ事」

登米市立西郷小学校 六年 星^{ほし} 成実^{なるみ}

わたしには、今年七十才になるおじいちゃんがいます。とても働き者でやさしくて、大好きなおじいちゃんです。

そんなおじいちゃんは最近、ものわずれで困っています。

「電話どこいったっけ。」

「カギどこき置いたかなあ。」

などと聞かれ、いっしょに探すことが多くなってきました。すぐに見つかった時は安心するけど、なかなか見つからない時は、わたしも心配でもっといっしょけんめい探します。けいたい電話もカギも大切なものだから、おじいちゃんもつと心配なんじゃないかなあと思います。

一、二年前まではあまりわすれることはなかったけれど、最近は何度の置きわすれや、同じことを何度も聞いてくることが増えました。おじいちゃんがわたしにたくさん聞くことなんて今までなかったの、少しおどろきました。

わたしは、おじいちゃんがあまり困らないように、何かできることはないかなあと考えました。

一つ目は、大切な物を同じ所に置いておくことです。前はカギやおじいちゃんの電話がぼんと置いてあってもそのまま

にしていたけれど、いつもの場所に置いてあげることになりました。そうすれば聞かれた時に、すぐにみんながわかります。これからも続けて、おじいちゃんがすぐ見つけれられるようにしたいです。

二つ目は、大切なことを話だけではなく、紙に書くことです。そうすることで、くりかえし見られるし、見るたびに思い出すきっかけになるので、おじいちゃんは安心すると思います。

三つ目は、なるべく自分で学校へ行くようにすることです。前は冬になるとおじいちゃんに学校まで送ってもらいました。でもおむかえに来るのをわすれてしまうことも何回かありました。わすれておじいちゃんが悲しい思いをしないように、寒くてもなるべく自分で学校に行こうと思います。寒くてつかれるから自転車で行きたくないと思ったけれど、お母さんにそのことを話したら、

「トレーニングだと思つてがんばつて。」

と言われました。わたしががんばることで、少しでもおじいちゃんが楽になるなら、できるだけがんばろうと思います。

おじいちゃんがあまり困らないように、わたしも家族もできることを続けます。だからこれからも元気で、おいしい野菜を作ったり、いっしょに散歩したりしていききたいです。こまったことがあったら、何度でも聞いてね、おじいちゃん。